Vol.21

京都コーナーで 平安京を調べよう!

調べ物のおてつだいカウンター 京都市中央図書館 参考図書室

あみだどう 今回は… 【**阿弥陀堂**】 に関する図書をご紹介します

阿弥陀堂とは… 阿弥陀如来を本尊とする堂やそれを含む院(阿弥陀院)。 阿弥陀堂という形式が成立し隆盛となるのは、末法思想を背景として浄土信仰が高まった 平安時代中ごろからで、大小各種の規模の堂が建立された。

『世界大百科事典』1巻(平凡社)p458"阿弥陀堂"の項より

◆『平安末期の広大な浄土世界 鳥羽離宮跡』 (鈴木 久男/著 新泉社) 請求記号 L/210. 38/ス

平安時代には極楽浄土を求め多数の阿弥陀堂が建立されました。その中でも、この本では鳥羽離宮を主題に取り上げ、造営の時代背景や、現代における離宮跡の発掘調査についてまとめられています。



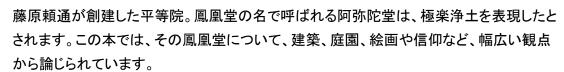




◆『京都・奈良古寺めぐり案内 カラー版』(古寺巡礼研究会/著 洋泉社) 請求記号 L/185. 9/キ

阿弥陀堂をもつ清水寺、知恩院、平等院をはじめ、京都・奈良にある67の寺院が紹介されている本です。各寺院の説明文とともに、カラー写真や簡単な地図が掲載されています。

◆『平等院鳳凰堂 現世と浄土のあいだ』(富島 義幸/著 吉川弘文館) 請求記号 L/702. 1/ト





◆『古寺巡礼京都 2 浄瑠璃寺 新版』 (淡交社)

請求記号 L/185. 9/コ/2



九体阿弥陀堂が当時のまま唯一現存する浄瑠璃寺の歴史や、庭園の解説、地図 や年表が掲載されています。豊富なカラー写真もあり、浄瑠璃寺を広く知ることがで きる本です。

このほかにも、関連する図書を所蔵しています。 京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。 貸出・閲覧や、調べ物のおてつだいをご希望のかたは、 中央図書館2階・参考図書室へおこしください。



2022.6 作成

